



▲賀寿の賞状や記念品を受けとり「ありがたい」と話す菊地さん

緑 100歳おめでとうございます 風園で楽しく生活する菊地さん

9月5日に100歳を迎えた菊地ヤスさんへの知事賀寿贈呈式が、桑折緑風園で行われました。県北保健福祉事務所と町から賀寿と記念品、町社会福祉協議会と町老人クラブ連合会からお祝い金が贈られました。社交的な性格で、周りにもとけこみやすく、どんな環境でもなじめる菊地さん。現在通っている緑風園でも、利用者さんや職員に囲まれ、毎日楽しく生活しています。長生きの秘けつは、何でも前向きに考えること。「家事・育児をすることを一切苦に思うことなく、むしろ楽しんで行っていた」と当時を懐かしみながら笑顔で話しました。

ス 100歳おめでとうございます キーやお散歩が大好きな虎岩さん

9月10日に100歳を迎えた虎岩ノブさんへの知事賀寿贈呈式が、コクーンで行われました。県北保健福祉事務所と町長から賀寿と記念品、町社会福祉協議会からお祝い金、そして、ご家族を代表して、甥の長女の金野麻衣さんと孫の金野亜美ちゃんから花束が贈られました。

特技はスキー。体を動かすことが大好きで、昔はよく自転車に乗ったり散歩したりしていました。長生きの秘けつは、社会参加をすること。「反省と感謝を忘れないように」という心掛けも大切にしていました。甥の菱沼直巳さんは「これからもずっと長生きしてほしい」と話しました。



▲孫にもらった花束を嬉しそうにぎゅっと抱え、満面の笑顔を向ける虎岩さん（前列中央）

手 100歳おめでとうございます 先が器用な宍戸さん

9月10日に100歳を迎えた宍戸ヨシノさんへの知事賀寿贈呈式が、桑折緑風園で行われました。県北保健福祉事務所と町長から賀寿と記念品、町社会福祉協議会からお祝い金が贈られました。

もの作りが得意な宍戸さん。縫い物から編み物、料理など、何でも器用にこなします。「今も材料があれば、縫い物したくなっちゃう」と笑みがこぼれます。長生きの秘けつは、クヨクヨすることなく、のんびりと生活すること。甥の宍戸行則さんは「手先が器用で何でも手作りしてくれた。これからも毎日楽しく過ごしてほしい」と感謝していました。



▲ご家族や施設職員らに囲まれ、100歳の日を迎えた宍戸さん（後列中央）

町 醸芳小学校町探検 内のお店や企業などについて理解深める

醸芳小学校2年生の生活科学学習の一環として「桑折町探検」が9月19日に行われ、5人ごとの班に分かれて、町内のお店や企業を訪問しました。

役場には、10人の児童が訪れ、庁舎内や議場を見学。「役場にはどんな仕事があるのか」「1日に何人ぐらいの人が来るか」など、日ごろ疑問に思っていたことを職員に質問しました。「たくさんの種類の仕事があってびっくりした」「普段なかなか入る機会がないので良い経験になった」などと役場の仕事について理解を深めました。



▲議場を見学する児童たち。「こんなところがあるなんて初めて知った」と興味津々



▲選手を代表して大会への決意表明を述べる、指揮者の野田ひとみさん

町 第24回全国女性消防操法大会結団式 女性消防隊、全国の舞台へ

11月13日に横浜市で開催される「第24回全国女性消防操法大会」を前に、女性消防隊の結団式が8月24日、レガールこおりで行われました。選手代表が『速く、正しく、きれいな操法』を目指したい」と決意表明をした後、町長をはじめ来賓の方々から激励の言葉が述べられ、選手らは決意を新たにしました。

選手らは大会本番に向けて、西分署員の指導協力のもと、厳しい訓練に取り組んでいます。今後は、10月20日の町地域防災訓練で練習の成果を披露する予定です。

福 ご芳志ありがとうございます 祉支援のためコクーンより寄附

社会福祉法人「コクーン」より、寄附金3万円が高橋町長に手渡されました。

この寄附金は、8月3日に開催された「コクーン夏祭り」で設置された募金と売上金の一部で、震災後の平成24年度以降、毎年いただいています。

「コクーン」の安彦慶一理事長は「町の社会福祉事業に役立ててほしい」と話しました。今年で15回目の節目の年を迎えた「コクーン夏祭り」は、天候にも恵まれ、大いに盛り上がりしました。



▲（左から）「コクーン」の大木哲元理事長、山岸一昭施設長、安彦理事長、高橋町長



▲（前列左から2番目）安細朋子委員長、（左から3番目）田村トキ副委員長

長 桑折町赤十字奉仕団感謝状受賞 年にわたる国道の美化活動を称えて

日赤奉仕団桑折支部が8月28日、福島市の福島河川国道事務所で、国土交通省から感謝状を受賞しました。

桑折町赤十字奉仕団は、平成7年から24年間にわたり、上郡地内の国道4号線沿の花壇の植栽や、除草などの作業を定期的実施。こうした環境美化や道路景観の維持・向上に多大な貢献をしていると評価され、受賞となりました。国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」とし、この行事の一環として、日ごろから道路の美化活動に貢献している人に対して表彰を行っています。

時 特別養護老人ホーム「あつかし荘」夜間消防訓練 代を超えて夜間の火災に備える

特別養護老人ホーム「あつかし荘」の夜間消防訓練が9月1日の防災の日に、同施設職員と町消防団員ら約90人により実施されました。この訓練は、昭和62年に東京都の特別養護老人ホーム「松寿園」で17人の入所者が夜間の火災で犠牲となった事件を受け止め、平成元年の夜間消防訓練実施以来、毎年継続して行っています。

令和初となる今年の訓練でも、施設職員が少なくなる夜間に火災が発生したことを想定し、通報、職員の非常招集、初期消火、避難誘導など、一人一人が行動の手順を確認し、真剣に取り組みました。



▲あたりが暗くなった野外で、消火訓練にあたる職員と消防団員